

太平洋の白鳥が
柔らかい羽根の下に
若者たちを抱き
大空を翔る!

若者よ
明日は一人で飛べ

海よ お前が

帆船日本丸の青春

監督 蜷川 幸雄

プロデューサー 銭谷 功

道祖土 健

脚本 井手 俊郎

撮影 兼松 熙太郎

杉村 博章

音楽 若草 恵

主題歌 中島 みゆき

田村 高廣

鈴木 瑞穂

柳生 博

山田 吾一

蜷川 幸雄

原田 大二郎

丹古母 鬼馬二

峰 竜太

寺泉 哲章

小林 昭二

下条 正巳

山谷 初男

横内 正

江波 杏子(特別出演)

平 幹二郎(特別出演)

後援 運輸省・航海訓練所

協力 日本丸・海王丸

企画 帆船映像化推進の会

製作 プロデューサー プレイヤー

取材協力 第8期商船高専実習生

第27回商船大学実習生

<特別参加>

日本丸・海王丸 第9期商船高専実習生

カラー作品



海よお前が

——帆船日本丸の青春——

蜷川幸雄監督作品／プロデューサー・銭谷功・道祖士健／主題歌・中島みゆき／特別参加・日本丸、海王丸第9期商船高専実習生／カラー作品

これこそファクションだ！ 本物の実習生108人の青春群像

1月はじめの日本列島、各地から、ひとりまたひとりと、20才前後の若者たちが、東京晴海埠頭へと集まって来る。そこには帆船日本丸が、彼等商船高等専門学校の学生たちを乗せ、65日間の遠洋航海に出ようと待ち受けている。

29枚の美しい帆を持ち、太平洋の白鳥と讃えられるこの船の上で、彼等とはどんな夢を見、どんな未知の世界にはばたいて行くのだろうか。108名の実習生は、出航までの4日間に、1人の実習生が脱落して107名となり、東京湾をあとにする。

冬の北太平洋は凄まじい低気圧の連続だ。若者たちは激しい作業に追われる毎日の中で、今更のようにスケールの大きい自然の力に驚異の目を開いていった。帆船は、風と海流をつかんで進むのだから、自然は友であり、また敵でもある。時に融合し、時に闘って行くには、全員が力を合わせて日本丸を操つるのだ。彼等は、自分では気づかぬ中に、次第に逞しくなっていた。長い30日が経ち、

ついにハワイ諸島の島影が見えた。しかし、ホノルルの1週間はまたたく間に過ぎる。5年前、商船高専に入学して以来、夢見てきたハワイでの日々はこんなにもあつけないものだったのか。上陸中の1秒1秒をむさぼるようにして、数々のエピソードを想い出して、

日本丸はホノルルを出港、いよいよ復航に入る。貿易風に乗れ、日本丸は豪快な帆走の毎日だ。若者たちの肌は赤銅色に輝く。だが、何故か心は楽しくない。それは日一日と日本が近づいて来るからだ。将来への漠とした不安が若者たちの胸をしめつける。

「今日が良い、明日は嫌いだ……ずっとこの船にとどまられたらいいのに……」

船は、総帆を格納し、彼らの日本丸には一べんに秋が来たようだった。

東京湾、その海は外洋の潮の香にくらべて、なんと汚臭を放っているのか。

演劇界の精鋭蜷川幸雄が

瑞々しい青春を描く

新しい映像ドラマ！

「ロミオとジュリエット」、「元禄港唄」、「下谷万年町」の蜷川幸雄の監督処女作。7ヶ月の長期ロケを主演の本物の実習生たちと寝食をともにしながら、文字通りオール・ロケで作られ、世界でも始めて現代大型帆船を舞台としたユニークな青春グラフィティ。快演する本物の実習生たちに対抗する教官役には、田村高廣、柳生博、原田大二郎、横内正など豪華キャスト。若



者たちの魅力溢れる地方弁の奔流が、作り物でないリアルなドラマ性を際立たせている。

群像演出に神技を見せる蜷川幸雄は、少年たちひとりひとりの瑞々しさを驚くほど自然に引き出して、青春の繊細な感情と詩情に充ちた帆船と海への感動を爽やかに鋭く描き切っている。製作者は「栄光への5000

下船の日、若者たちは、ひとりまたひとり、教官たちとかく握手をかわし、タラップを降りて行く。

107人の青春群像は思い思いの方向に散って行く。その未来がどうあれ、日本丸での日々は彼らの記憶に残り続けるに違いない。

キロ」の銭谷功。帆船映像化推進の会を母体に、運輸省航海訓練所をはじめとする海を愛する人々のバックアップを得て、この大胆な企画を完成。

「海よ、お前が泣いてる夜は、遠い故郷の歌を歌おう」と、美しく語りかける主題歌は、中島みゆきである。

21日(土)より待望のロードショー！

地下鉄東銀座前

松竹セントラル (541) 2714

新宿歌舞伎町

ミラノ座 (202) 1189

渋谷東急文化会館1F

パンテオン (407) 7219

●特別鑑賞券1100円(一般1400円の処)好評発売中！

上映時間 日・祝 10:30 平日 12:50 3:30 6:10 3館共通
※最終回の「海よお前が」のスタートは6:25です。